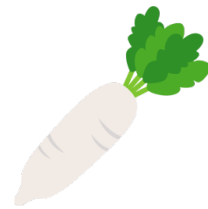


だいこん



発行日：令和6年2月6日

1. 卸売価格の動向

○92 円/kg（2月3日）

➢ 平年比：105%

○2月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○161 円/kg（1月全国平均）

➢ 前月比：106%、平年比：109%

➢ 東京：166 円（1本）

➢ 大阪：196 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：11/20（前月7/20）

➢ 大阪：4/10（前月5/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○437g/人（12月全国平均）

➢ 前月比：100%

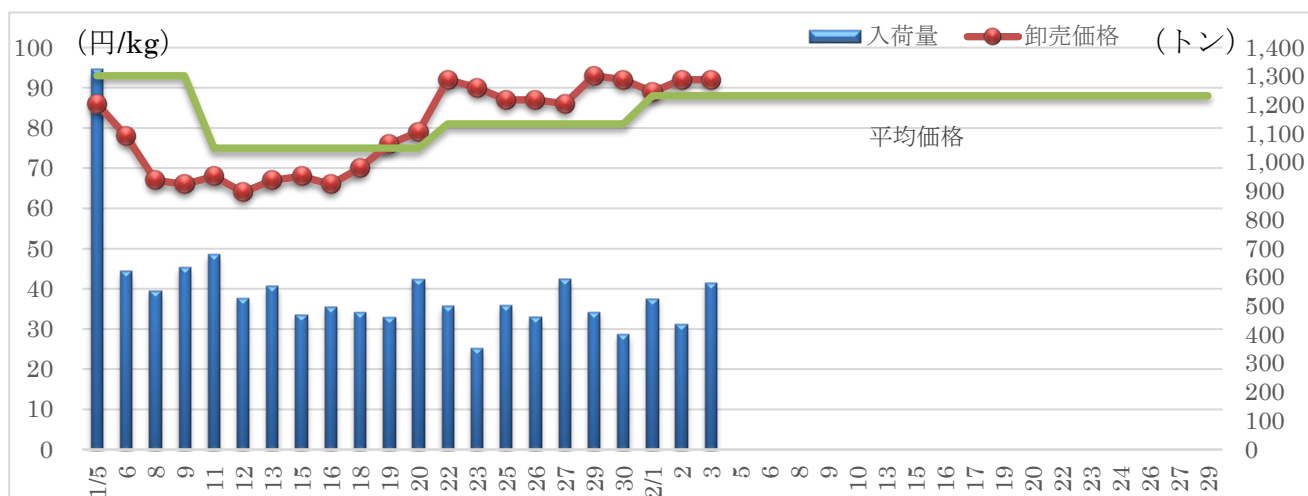
➢ 前年同月比：95%

○3,653g/人（2022 年年間）

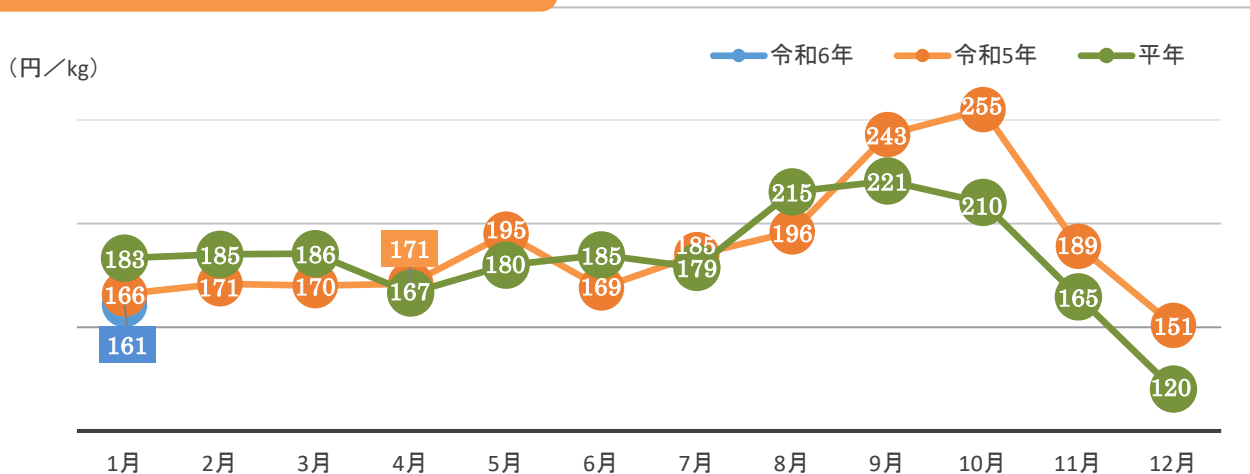
➢ 前年比：92%

（総務省統計局家計調査）

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. だいこんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
福井県福井市木田 (1/6)	減少	—	—	—
静岡県JAハイナン (1/28)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
和歌山県和歌山 (12/19)	前年並み	平年並み	早い	早い
徳島県里浦 (12/15)	やや減少	平年並み	早い	早い
福岡県福岡市 (1/26)	前年並み	やや良	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



静岡県 JA ハイナン：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (02/03~03/01)

週別の天候				
2/03~2/09	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
2/10~2/16	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
2/17~3/01	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低30 並30 高 40% ほぼ平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少30 並 40 多30% ほぼ平年並見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高 60% 高い見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並見込み	少30 並 40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高 60% 高い見込み	少20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少20 並30 多 50% 多い見込み	少20 並30 多 50% 多い見込み	少 40 並 40 多20% 平年並か少ない見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮その他根菜類) ※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

○138トン (12月輸入量)

1000 (トン)

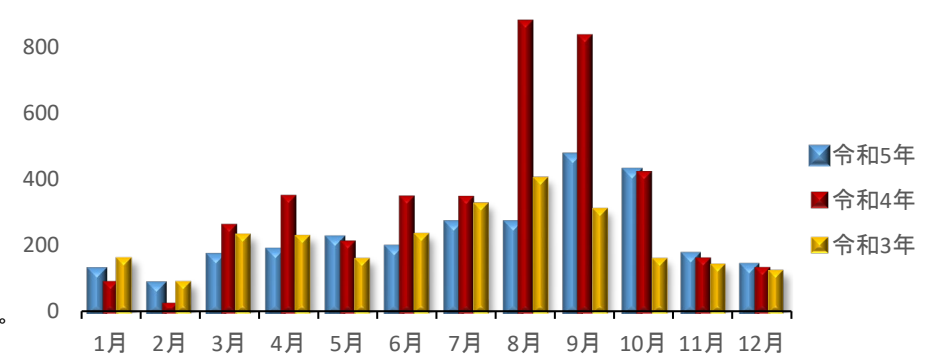
➢ 前年同月比：102%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 125トン
- 2位 オランダ 7トン
- 3位 ベルギー 4トン

※平成30年4月より税番改正があったため平年比なし。

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

1月は、千葉産、神奈川産などの生育、太りが前進化したことで中旬まで入荷量が伸びたことから、価格は中旬まで平年を下回ったものの、前進化により下旬には入荷量が落ち着いてきたことから、価格は下旬から平年を上回ってきました。

2月は、引き続き千葉産、神奈川産などが前進入荷となることから、一時的な端境はあるものの安定した入荷量となることから、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793